



## 収穫が楽しみ田んぼの学校

6月1日 若葉

当別土地改良区主催による「田んぼの学校」と、日ごろ忙しいお父さんとのコミュニケーションを深めることを目的とした町教育委員会社会教育課による「父子（おやこ）de 田植え」が水田発祥の地（若葉）で合同開催され、15組が参加しました。参加者は裸足で田んぼに入り、もち米の苗を一本一本手植えしました。田植えが終わった後には泥だらけの足を洗いながら「楽しかった！お父さんの足も泥だらけだね。」と笑いあう姿が見られました。



## 美しい花でお出迎え

6月4日 駅前大通り、ふくろう街道

訪れる方を花でお出迎えようと町内の企業や団体、一般町民による花の苗植えが行われました。樺戸町を通る道道当別浜益港線（通称：ふくろう街道）での花植えは今年で9回目を迎え、ふくろう街道景観保存委員会（大津正一会長）の呼びかけに町内会、企業が参加して、約100名がマリーゴールド、グリーピアの苗7,700本を汗を流しながら植えました。今後、10月頃まで当別を訪れるドライバー達の日を楽しませてくれます。



## 初夏のひとときを

6月22日、23日 スウェーデン公園他

スウェーデン王国・レクサンド市との交流の証として開催している夏至祭が30回を迎えました。前夜祭ではトークショーやコンサート、1,500発の花火大会が行われたほか、関連イベントとしてパークゴルフ・JRヘルシーウォーキング等が行われ、夏至祭本祭と合わせ全体で約14,000人が来場しました。本祭会場ではレクサンドプレートやザリガニカレー等の特別メニューの出店があったほか、レクサンド出身の歌手の出演があるなど、清々しい当別の初夏が堪能されました。